先生
資料まとめて
おきました
お？
ありがとう秋山
流石は生徒会副会長だな
いえいえ
このくらい当然です
だって渡す資料を
作ると小林先生に
会えるんだもの♥
ああ♥
小林先生ー
好き♥
虐めたい♥ー

うふふ♥
やった♥
小林先生に
褒められた♥
ドキ♥
ドキ♥
ドキ♥
先生の声
可愛かったな♥
・・・・
キョロ
キョロ
ああ…駄目
我慢できなく
なってきた
あたしったら
学校で毎日こんな

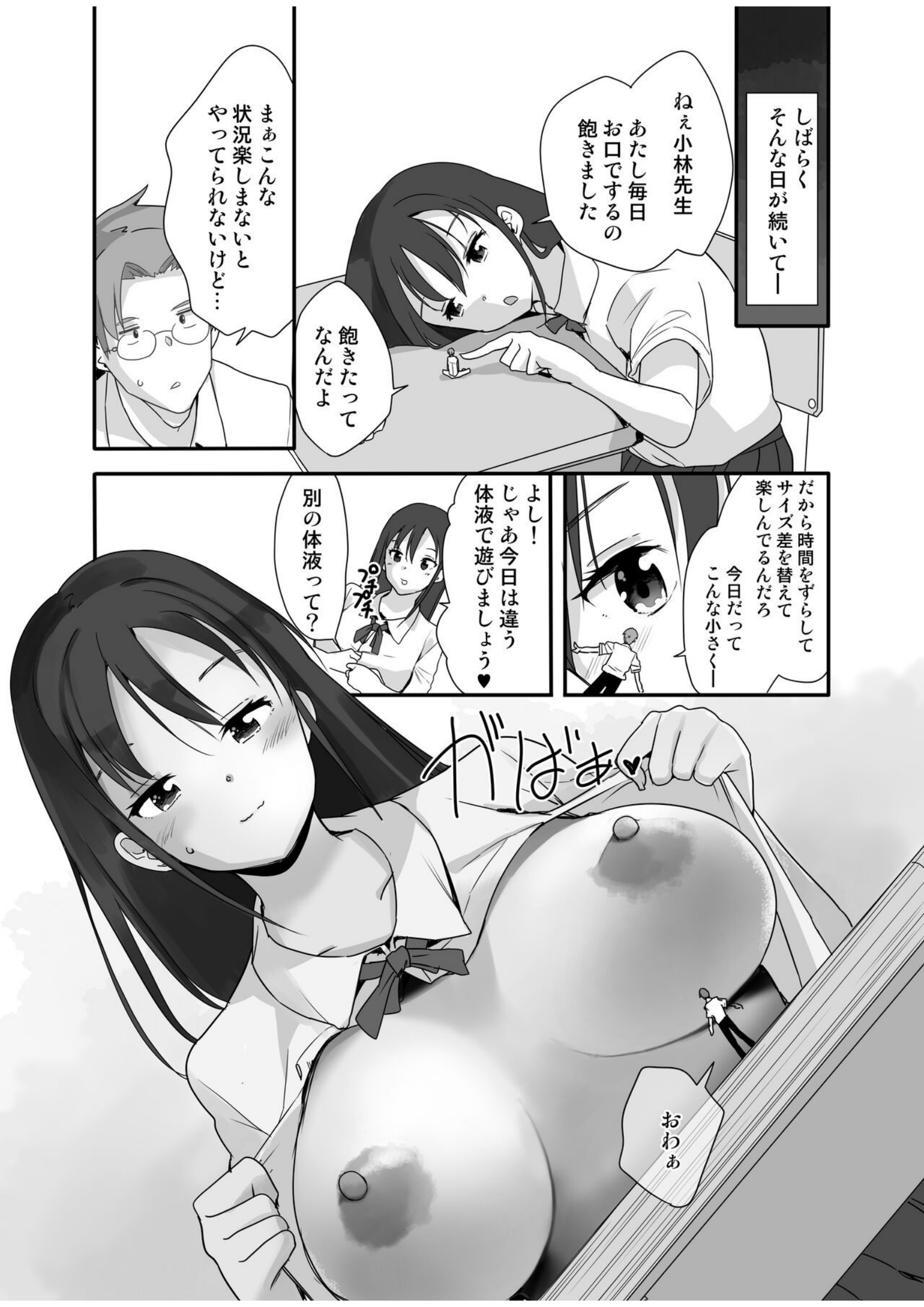
ギュム
あぁ
小林先生♡
ぐに♡
ぐに♡
ぐに♡
ぐに♡
好き♡
大好き♡
この人形みたいに
小さな先生を
めちゃくちゃに
したい♡
すっ
こうやって
押し付けて
挟んで
小林先生の苦しむ
表情が見たい♡
小さな小林先生を
あたしの玩具に♡ー

―そして
こんなことを
毎日毎日
続けていた
数か月後の
放課後に
小林先生が
本当に小さく
なってしまいました

インターネットで
調べたところ
どうやら
あたしの願いが
呪いになって
先生を放課後の
夕方から体が
少しずつ小さくなって
朝になるまで
元の大きさに
戻らなくなる
呪いにかけてしまった
らしい

でも体が縮む速度を止める方法があって
あの…本当に大丈夫ですか先生…
ああ大丈夫だやってくれ秋山
その方法は―
あたしの体液を直接
小林先生に飲ませる事
これで…今日はこれ以上小さくならないんだな
はい…おそらく

その日からー
今日は小さい♥
あたし達は毎日
うぬぬ
1日ぢゅ。
放課後に
小さくなった先生に
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
あたしの唾液を
与え続けた
はぁぁぁ……♥
にちゃぁ…


しばらく
そんな日が続いてー
ねぇ小林先生
あたし毎日
お口でするの
飽きました
飽きたって
なんだよ
まぁこんな
状況楽しまないと
やってられないけど…
だから時間をずらして
サイズ差を替えて
楽しんでるんだろ
今日だって
こんな小さくー
よし！
じゃあ今日は違う
体液で遊びましょう♥
別の体液って？
プチプチ
がばぁ♥
おわぁ

秋山なにやって
おっぱい…
だから今日は
あたしのおっぱいに
ついた汗を先生に
飲ませてあげるんです
じゃあ先生
少し苦しいかも
しれないけど
我慢してくださいね
いやいやいや
そんな巨大な
おっぱいで
どうやって
やさしくー
ズキキキ♥
いきますよ

むぎゅ
先生
大丈夫ですか？
苦しくない
ですか？
むぎゅ～～～♥
あっ山本先生
乳首の下敷きに
なってる♥
重くて苦しいですか？
ぐり♥ぐり♥
ぐり♥
はい休憩♥
ぷよん♥
ぶはっ

先生♥あたしのおっぱいに
完全に押しつぶされてますね♥
ずし
ずし
ずし
あたしのおっぱい
どうですか
先生♥
うーんでもやっぱり
こっちの方が
汗出るかな？
こっちって…
んふふ♥
このナカです♥
おっぱいと
おっぱいの間♥
えっ

秋山！
ちょっと待ー
ぽと♥
あっ♥
先生おっぱいの間に
入っちゃった♥
むぎゅ～～～♥
先生どおですか？
あたしのムレムレの
おっぱいの間は
柔らかい？
汗ちゃんと飲めてます？
むに♥
むに♥
むに♥
うふふ♥ぎゅって
してあげます♥
ぎゅ～～～～♥

はぁ〜♥
たぷ♥
はぁ〜♥
はぁ〜♥
たぷ♥
ああ♥
イケナイ…
どんどん
えっちな気持ちに
なって暴走しちゃう
それでも今
小さな小さな小林先生が
あたしの
おっぱいに
挟まれてるって
思うと♥

先生には
悪いと思うけど
ムン。
ムン。
この呪い
最高かも♥
ぶはっ
先生ごめんなさい
謝るなら
もう少し
優しくしてくれ
あん♥
え
それは
無理かも♥

それから
ふたりは毎日
この生活を続け
この特別な
儀式は日常に
なっていった
ほら先生♥
あたしの足の汗
飲んでください♥
どおですか先生
どんな臭いがしますか♥
先生♥
蒸し暑いですか？

汗ってだけでもずいぶん色々やったなぁ
あれ？先生もしかして新しい刺激が欲しいんですか
い…いやこれは…その
じゃあおしっことかやってみます？
……今日のサイズ差だと流されてしまいそうだ
えっと……じゃあもうひとつのほう
もうひとつ？
えっと…
？
……愛液…とか
！

言ったら恥ずかしくなってきた
や…やっぱ忘れてください！
いやっ秋山っ俺も
俺も秋山の…その愛液でやってみたい
や…やってみないか？
えっ…もしかして先生…
…変態♥
秋山に言われたくないなぁ
いやん♥
山本先生…♥
ずん♥
これで…どおですか♥
もう山本先生にそう言われちゃったらその気になるじゃないですか
!?
しゅる…♥

すご…
上空の視界いっぱいに
秋山のまんこが見えてて
大迫力で
最高の眺めだ♥

あっやだぁ
トロ…♥
ベッちゃっ♥
おおっ
あたしったら
興奮して濡れちゃって
愛液が垂れちゃった♥
はーい♥
はーい♥
先生♥
その小さな体で
全身であたしの
愛液を受け止めて♥
つーー♥
あっ先生が
あたしの愛液で
びしょびしょに
なってく♥
トローン♥
秋山の…愛液♥
ドロ…
ドロ♥
ドロ♥
甘くてぬるぬるで
暖かくて♥
ぬめ♥
ぬめ

はー
はー
はー
はー
ズズ
はい♥
終わりです♥
小林先生♥
どうでした？
……
小林先生？
興奮が収まらない
秋山と
こんなことを
毎日繰り返してる
うちに俺…
秋山とする
サイズ差プレイの
虜のなってしまったの
かもしれない……

小林先生
もしかして
あたしのアソコ
気になります？♥
あっいやすまん
つい見惚れて
しまった
いいですよ♥
はい♥
小林先生♥
あたしのおまんこ
開いてあげますから
は――♥
は――♥
は――♥
は――♥
は――♥
ナカまで
よく見てください♥
くぱぁ♥

うおおおお
す…
すごい…♥
俺の何倍も巨大で
膣口ですら
俺なんて簡単に
吸い込まれそうな
くらいに巨大だ
にちゃあ♥
おまんこの中に
吸い込まれそう？
えへへ
食べちゃうぞー♥

でもほんとに
今の先生なら
軽く入っちゃう
大きさですよね
小林先生が良いなら
その…
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
あたしのおまんこの中に
小さな先生が体ごと
入ってくれたら
良いなって…
いっそ本当に…
え？

えっ…俺が秋山の膣内に？
はい♥
だってほらよく見てください♥
は…入って大丈夫なのか？
あたし先生が入るかもって思っただけでこんなにトロトロになっちゃって…♥
先生おまんこに入れたくてうずうずしてるんだよ♥
ﾄﾛｫ…
本当はおちんちんが入る場所だから♥
先生みたいな小さいこびとさんがあたしのおまんこに入ったら♥
きっと膣液で全身ぐちょぐちょになって膣肉に揉まれて♥
それにあたし先生のこと大好きだから奥の奥まで飲み込んじゃうかもしれない♥

ズオオオオオオオ
♥♥♥
俺の…
体ごと全身…
秋山の
おまんこに…
奥の奥まで…
飲み込まれる……!?
むゆま♥